

～ 人権・同和教育だより ～

「空に風 人に愛」

島根県立浜田高等学校
定時制・通信制課程

第7号 2020. 11. 30 (月)

< 新型コロナウイルス感染症から「人権」について考える ～ 誰もが安心して暮らせるために ～ >



「新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮等に係る学習」として、定時制では11月中に各部・クラスで、人権・同和教育LHRを実施しました。

目標

- ・新型コロナウイルス感染症の流行により起きている人権上の様々な問題について理解を深める
- ・事例について考えることを通して、自分自身の差別心に気づく
- ・誰もが安心して日常を過ごせるためにできることを実践しようとする意欲を高める

内容

- ①ワークシートの事例について、自分ならどう考えるか印（○・△・×）を記入する
事例1 新型コロナウイルスに感染しないように、できるだけ人が多いところには行かないようにする。
事例2 家族が病院で働いていることを知り、「離れて」と言う。
事例3 県外ナンバーの車を見て、うわさをする。
事例4 新型コロナウイルスに感染した人やその家族を責める。
事例5 マスクをきちんとするように言う。
事例6 外出した後に、うがいや手洗いをしっかりとする。
事例7 感染者の出た学校名や店名を公表する。
事例8 どこの地域で感染者が出たかを調べる。
- ②①について、理由や意見を説明しながらお互いの考えを発表する（クラスによってはグループワーク）
- ③8つの事例について検証
- ④現状（新型コロナウイルス感染症の流行により起こっている人権問題）について説明
 - ・噂話、犯人探し、誹謗中傷
 - ・島根県内での事例
（松江市内での第一感染者、出雲市での感染者、立正大浜南高校でのクラスター発生……）
- ⑤「天声人語」（8月24日・朝日新聞）、5コマ漫画「安心して感染したい」を読む。

今回は、昼間部1・2・3・4年生と夜間部（合同）で、同じ内容の授業を実施しました。同じ内容ではありませんが、授業を担当する先生によって、自分の体験や感じたことなどの話が異なり、それぞれの先生の思いや熱意が伝わってきました。また、授業の最後に「誰もが感染する可能性がある」「感染することが悪いのではない」と強調したり、「自分はどんな生き方をするのか」と問いかけたりする先生たちの姿が印象的でした。

人権・同和教育LHRでは、毎回いろいろなテーマで学習しています。正しい知識を得ることだけが目的ではありません。自分の差別心について振り返ったり、人との関わりにおいて大切にすべきことを考えたりする機会です。今回は「新型コロナウイルス感染症」がテーマでしたが、日常生活の自分のあり方や人との関わり方に通じています。

全ての生徒・教職員が安心して過ごせる浜田高校であることを望みます。そのために一人ひとりの人権感覚や人権意識が必要です。人権・同和教育LHRの時間だけで人権感覚や人権意識が身につくものではありません。日々の生活の中で、「自分のものさし(基準)・自分中心の考え方で、人を見たり物事を判断したりしていないか?」「自分の感情に任せて相手が傷つく言動をとっていないか?」人を見て人に対しての言動をとる前に、まず自分自身に目を向け、自分が人としてどうであるかを問う人間でありたいです。

授業後に生徒のみなさんが書いてくれた感想から、いくつか紹介します。

(裏面へ続く)

昼間部 1年生

- ・自分の親は病院関係の仕事をしています。親は家族が安心して暮らせるようしっかりコロナ対策をしています。今回の授業で「家族が病院で働いていることを知り『離れて』と言う」というワークシートがありました。僕は親には誹謗中傷をしていなくてほんとによかったと思います。これからもコロナは続くと思うのでしっかり対策していきたいです。
- ・自分が誹謗中傷をされた時のことを皆が考えて行動すれば、悲しい思いをする人が限りなく少なくなると思います。互いに支え合える人が成長できるので、皆がそうなればいいなと思います。

昼間部 2年生

- ・コロナでみんな不安がっていて、その不安をみんなが協力して助け合える社会にしたいと思った。
- ・自分を客観的に見ることをしっかり心がけていきたいと思います。グループ内で人それぞれ違った意見があっというんな考え方があるんだなと思いました。
- ・感染予防も大切だけど、感染者の人権を守ることも同じくらい大切なんだなと思いました。

昼間部 3年生

- ・コロナのせいで、少しむせただけ、くしゃみをしただけ、学校や会社を休んだだけで、コロナじゃないかと言われて周りの人から距離をとられる人もいます。そういう事にも気を遣ったり不安になったりとストレスがたまりやすくなる原因の1つだと思います。自分がコロナに感染するんじゃないかと不安になるのもわかるけど人の気持ちを今までよりもっと考えて行動・発言していかないといけないと思います。外出を控えたり手洗い・うがいなどの予防をしたりしていても感染してしまうこともあるから、そういう時は責めたりしないでほしいと思います。

昼間部 4年生

- ・グループ活動の時に、一人だけ意見が違ったり考え方などがばらばらだったりしたのですが、改めて、周りの人と意見を言い合うのは大切だと思いましたし、周りに流されずにみんなが意見を言えるということにとっても感心しました。授業の最後にもありましたが、もし身近に感染者が出ても責めることを言わず、心配の言葉をかけられるような人になろうと思いました。
- ・コロナウイルスのことが分からないからこそ不安になると思うけど、感染してしまった人やその周りの人を責めるようなことをするのは絶対にしてはいけないことだと思うし、感染してしまった人に対して、心配や励ましの言葉をかけていく穏やかな世界になっていくようにしないといけないと思いました。

夜間部合同

- ・「ウイルスより人がこわい」これ、納得。
- ・感染するのは仕方ないことだから、かかってもうわさとかせず静かに生活していく。

(生徒部 人権・同和教育担当：岡崎)

< 「いじめ防止アンケート(第2回目)」を実施しました > ~ 生徒部より ~

「学校生活 いじめ防止に関するアンケート」に協力してくれてありがとうございました。

アンケートの回答では、残念ながら、嫌な思いをした人・している人がこの学校にいます。そういう思いをしている人の気持ちを少しでも軽くし、いじめのない学校を目指したいと思います。もし、アンケートに書き忘れたことがある人は、今からでもよいので、担任の先生や副担任の先生、伝えやすい先生などに知らせてください。先生に直接伝えるに困る時は保護者の方を通じて 伝えてもらっても構いません。信頼できる友だちに伝えるのもよいと思います。また、教育相談やS Cの先生もぜひ活用してください。相談が難しい場合は、「いじめ相談テレフォン(0120-779-110)」等も活用してください。これから、クラスでのグループ活動や4年生を送る会など全校で協力しなくては成し遂げられない行事もあります。普段の授業や活動なども含めて、安全・安心・快適な学校生活を送るためにも、クラスメートや先輩・後輩などのことを自分と同じように大事に思うような言動を心がけましょう。

みんなの力でこれまで以上に誇りを持てる浜田高校を創造していきましょう。(生徒部 人権・同和教育推進委員：春木)